

流域全体で実施する対策

「逃げる」ための…

情報伝達・避難
(情報提供の取り組み)



【大阪府河川室 画像公開システム】
<http://www.osaka-pref-rivercam.info/>

- 【気象庁】(出典:気象庁ホームページより)
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 【国土交通省 防災情報提供センター】
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
<携帯サイト>
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>
- 【国土交通省 X バンド MP レーダ雨量情報】
<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>
レーダによる降水状況などの情報を提供しています。
- 【大阪府 洪水リスク表示図】
<http://www.river.pref.osaka.jp/>
地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。
- 【大阪府河川室 河川防災情報】
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>
津田川流域の雨量、津田川の水位状況を確認できます。
- 【おおさか防災ネット】
<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>
緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

防災情報を携帯電話で入手できます。
下の QR コードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。



大阪河川情報

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
<http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>
直接アクセスしてください



防災情報メール

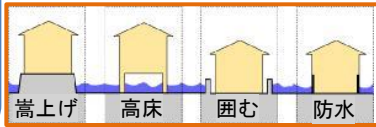
地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net

地域や関係機関との連携

- 「防ぐ」
 - 河川愛護活動への支援(地域住民、NPO)
 - 地域住民やNPO団体と河川環境の保全・再生・美化活動など連携した維持管理の実施
- 「凌ぐ」
 - ため池の雨水貯留機能の保全(ため池管理者や関係団体)
 - 道路、公園、学校グラウンド等を利用した雨水貯留施設の設置(施設管理者)
 - 住宅等の開発行為に伴う調整池の恒久化(開発事業者)
 - 農地・森林の保全(水源涵養、保水機能)
 - 各戸貯留施設の設置(地域住民への啓発活動)
 - 建物の耐水化、土地利用の誘導(河川氾濫時、流水時)
- 「逃げる」
 - 情報提供(地域住民 貝塚市、岸和田市)



地域住民等と連携した維持管理



建物の耐水化

- 以下のホームページに掲載しています。
 - ・大阪府河川室(アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)
 - ・大阪府岸和田土木事務所(アドレス <http://www.pref.osaka.jp/kishido/topics/index.html>)
- 以下の場所に資料を備えています。
 - ・大阪府 河川室
 - ・大阪府 岸和田土木事務所(本部、尾崎出張所)
 - ・貝塚市役所 道路交通課
 - ・岸和田市役所情報公開コーナー、岸和田市役所 水とみどり課

縦覧と意見募集期間は、
12月7日(月)から
12月21日(月)まで

ご意見はこちらまで

《郵送・FAXの場合》
〒596-0076

大阪府岸和田市野田町3丁目13-2 泉南府民センタービル内
大阪府岸和田土木事務所河川砂防グループ あて
FAX 072-422-9705

《電子メールの場合》
メールアドレス

kishiwadadoboku-g03@gbox.pref.osaka.lg.jp
(大阪府岸和田土木事務所河川砂防グループ あて)

いただいたご意見を踏まえ
河川整備計画の対応方針の
検討を進めてまいります。

平成28年1月18日(月)
平成27年度 第7回
大阪府河川整備審議会

参考資料2

<概要版>

津田川水系 河川整備計画(変更原案)

をとりとめました。



雨降りの滝(津田川7.8k付近)

津田川流域について

- 流域市町: 貝塚市、岸和田市
- 指定区間延長: 10km(河口~国道170号河合橋)
- 流域面積: 26.3km²

- 流域の土地利用は、下流~中流が住宅や商業施設を中心とした市街地で、上流が山間部で農地や集落を中心とした田園地
- 意賀神社周辺には、落差10mの「雨降りの滝」がある



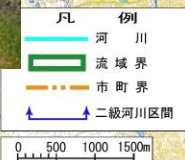
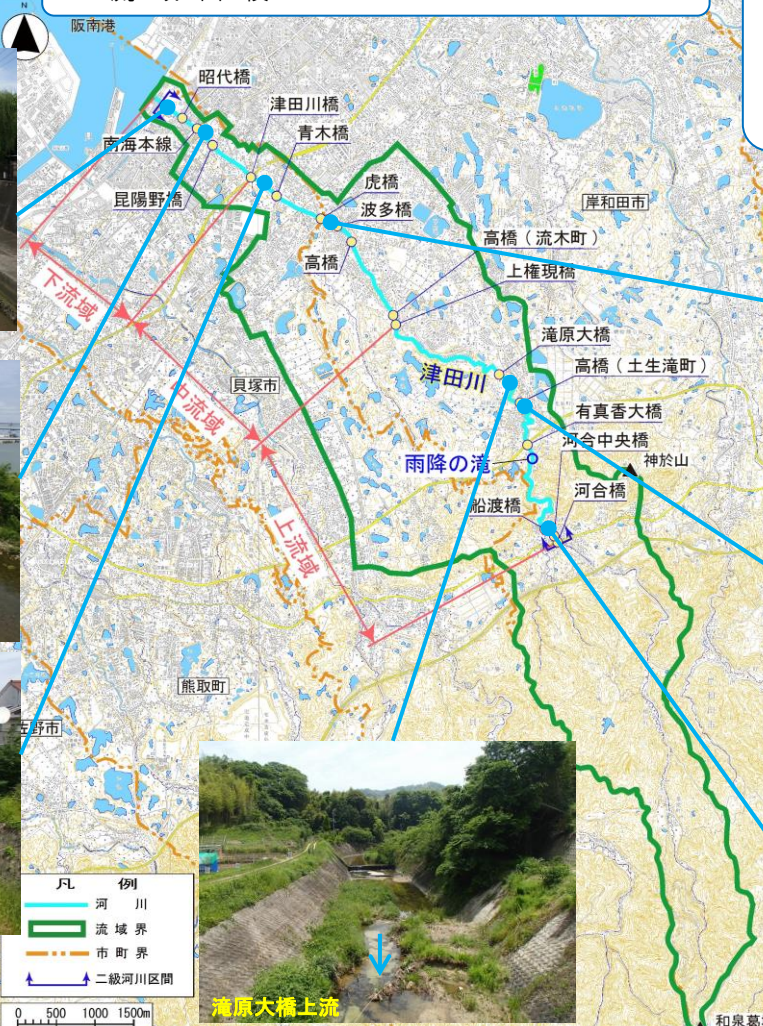
岸見橋下流(感潮区間)



南浜本線上流(感潮区間)



青木橋下流



波多橋下流



高橋(土生滝町)上流



河合中央橋下流

→ : 流れの方向

大阪府の目標

将来目標「大阪府河川整備長期計画 H8.3 策定」

一生に一度経験するような大雨(時間雨量80ミリ程度)が降った場合でも、川があふれて、家が流され、人が亡くなるようなことをなくす。

- ・府管理河川全体で、目標達成に約1兆400億円、約50年必要
- ・治水施設で防げない洪水に対する総合的なリスク対策が必要

当面の治水目標「今後の治水対策の進め方 H22.6 策定」

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。

【取組方針】

- 現状での河川氾濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施設を着実に実施する。
- 府民が対策の効果を実感できる期間(概ね10年)での実現可能な対策及び実施後の河川氾濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標(今後20~30年)】

時間雨量50ミリ程度の降雨で床下浸水を発生させない。かつ、事業効率等を考慮し時間雨量65ミリもしくは時間雨量80ミリ程度の降雨で床上浸水を発生させない。

【河川情報の提供】

住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

- ※ 時間雨量50ミリ程度の降雨 : 10年に一度発生する恐れがある降雨
- 時間雨量65ミリ程度の降雨 : 30年に一度発生する恐れがある降雨
- 時間雨量80ミリ程度の降雨 : 100年に一度発生する恐れがある降雨

総合的・効果的な治水手法の組み合わせ

河川

治水施設の整備・保全 (防ぐ)

河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避する等、河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。(河川改修・堆積土砂除去など)

流域

流出抑制 (防ぐ)

雨が降っても河川へ出る水量を減らす。(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用等)

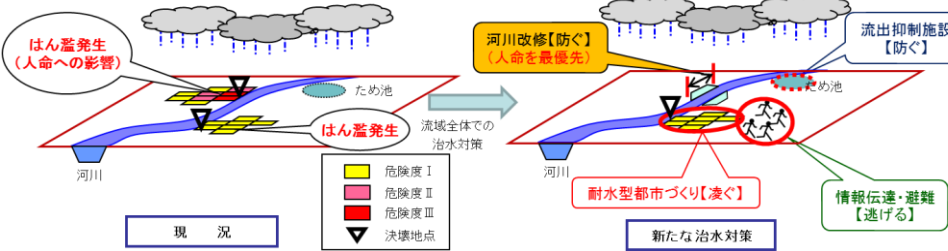
耐水型都市づくり (凌ぐ)

河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。(家屋の耐水化・高床化などの促進)

情報伝達・避難 (逃げる)

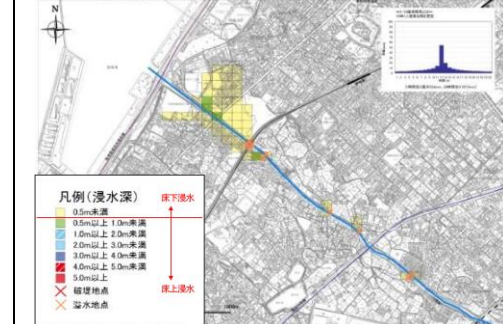
河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、避難体制づくりの促進等)

<流域全体での治水対策イメージ>



津田川の治水目標

時間雨量50ミリ程度の雨が降った場合



津田川では、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水で床上浸水被害が発生します。

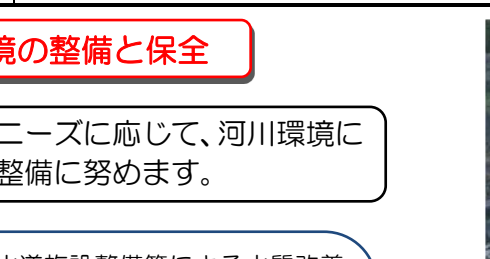
時間雨量50ミリ程度の降雨を十分安全に流下させる対策を図ります。

上記の治水対策によって、時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水で床上浸水を防ぐことができるため、50ミリ程度降雨による対策を当面の治水目標とします。

治水施設の整備(洪水対策)を実施します

当面の治水目標を達成

時間雨量50ミリ程度対策後に時間雨量65ミリ程度の雨が降った場合



津田川で実施する整備

「防ぐ」ための…

治水施設の整備(洪水対策)

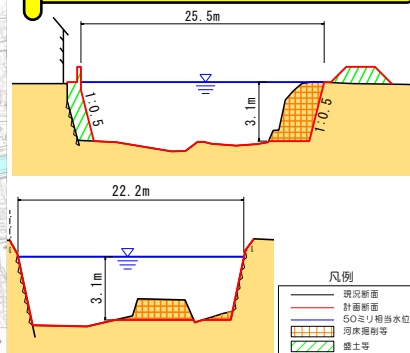
- 河道改修(拡幅、河床掘削等)による断面拡大により治水機能の向上を図ります。
- あわせて堤防護岸の地震・津波対策を実施します。

流下能力が不足している南海本線上流の約1.3km区間については、洪水対策を実施します。

近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震及び南海トラフ巨大地震を対象とした地震・津波対策を実施します。



整備断面例
上段：南海本線上流 0.62k 付近
下段：青木橋下流 1.80k 付近



河川環境の整備と保全

住民等のニーズに応じて、河川環境に配慮した整備に努めます。

- 下水道施設整備等による水質改善(環境基準の達成)
- 今後の維持管理と合わせた河道内へのアクセス改善
- 回遊性魚類等に配慮した上下流の連続性の確保
- 良好な景観の保全や周辺景観との調和



簡易的な魚道による上下流の連続性の確保
出典：「水辺の小わざ」(2007.3)山口県土木建築部河川課



津田川で確認される魚類例
(ニホンウナギ)

治水施設の保全(河川の維持)

危険度等からの優先度、住民等のニーズに応じて、維持補修等の対策を実施します。

津田川で確認される損傷等(平成26年度末時点)

- 降雨の表流水・浸透水による土砂流出が要因と思われる護岸背面の土砂流出
- 緩い河床勾配による土砂堆積、植生繁茂
- 洪水による土砂流出が要因と思われる護岸局所洗掘、護床ブロック流出
- 施設の老朽化が要因と思われる護岸のクラック など



土砂堆積



老朽化護岸(破損)

維持管理の方法

- 堤防や護岸などの河川管理施設の定期点検や緊急点検の実施
- 地先の危険度など考慮して優先順位を決め、計画的な維持管理
- 土砂堆積や植生繁茂を定期的に調査し、対策を実施
- 河川管理施設の被災時には緊急対策を実施し、出水後に速やかな機能回復を実施
- 許可工作物(取水堰や橋梁)などについても河川管理施設と同等の点検・補修を行わせるなどの指導
- 定期的な河川パトロールを実施し、違法な耕作や工作物の設置についての監視
- 不法投棄によるごみは、適宜回収

